

平成26年1月6日(月)朝日新聞 朝刊

子育てもパパとママとでハイタッチ

長久手市「男女共同参画」川柳
最優秀賞に加藤さん

一般の部の最優秀賞の加藤八重子さん(右)と吉田一平市長＝長久手市役所

長久手市が「男女共同参画」をテーマに募集していた川柳の入賞作品が決まった。一般の部では加藤八重子さん(65)の作品「子育て

も パパとママとで ハイタッチ」、小中学生の部では、市立西小学校5年の堀之内沙妃さんの作品「料理はね 共同作業が かくし味」が、最優秀賞に選ばれた。

川柳は、市が身近な暮らしの中で男女共同参画の理解と関心を深めてもらおうと今年度、初めて実施した。

昨年7～9月に募集したところ、一般の部に30点、小中学生の部に58点の計88点が寄せられ、育児や料理など家事について男女が協力する姿や様子を5・7・5の17文字で表現した。

最優秀賞の加藤さんは、

自宅に遊びに来た娘が初めての子どもの育児に奔走している様子を見て、この川柳が浮かんだという。

「パパも頑張ってくれているけれど、やっぱり大変そう。一緒に子育てを楽しんでほしいという願いを込めました」と話した。

このほか、一般の部の優秀賞は仁田正和さんの「家事育児 昨日は妻で 今日 はぼく」、小中学生の部は西小学校5年の飯田万喜さんの「助け合い 家庭にゆとり 支え合い」だった。

佳作以上の入賞作品は今月31日まで、市役所本庁舎1階正面玄関と、市まちづくりセンターで展示しているほか、市の広報1月号でも紹介した。市のホームページや印刷物などにも掲載して、活用するという。

男女共同参画テーマの標語・川柳 長久手で最優秀賞表彰

表彰状を受け取り吉田市長と握手する加藤さん(左)＝長久手市役所で



長久手市が募集していた男女共同参画をテーマにした標語・川柳作品の最優秀賞受賞者の表彰式が二十五日、市役所であった。「子育てもパパとママとでハイタッチ」という標語で、最優秀賞に輝いた同市片平の加藤八重子さん(左)が吉田一平市長から表彰状を受け取った。

市は、身近な暮らしの中で男女共同参画への理解を深めてもらうと、今年七月～九月に市民を対象に初めて作品を募集した。

一般の部と小中学生の部に計八十八点の応募があり、学識経験者らでつくる審議会の審査で、入賞作品を決めた。

一般の部で最優秀賞の加藤さんは「娘夫婦が四苦八苦しながら協力して子育てに励む様子がヒントになった」と話した。小中学生の部の最優秀賞は、西小五年堀之内沙妃さんの標語「料理はね共同作業がかくし味」が選ばれた。

入賞作品は来年一月三十一日まで、市役所や同市武蔵塚のまちづくりセンターで展示する。(渡辺健太)

◇その他の入賞者の皆さん
【小中学生の部】優秀賞 飯田万喜(西小5)▽佳作 浜田慎太郎(北小6) 宮内優希(市が洞小6) 横田ゆうか(南中3)
【一般の部】優秀賞 仁田正和(桜作)▽佳作 加藤智美(岩作落合) 高橋公子(岩作三ヶ峯) 仁田宣子(桜作)